



わらしこ10月の園だより

家では見られない、もう一人の我が子に会いに来てください。

～ 保育参観に向けて ～

先日のわらしこまつりには、たくさんのご参加、ご協力をありがとうございました。感想もたくさんお寄せいただき、中には「我が子の友達のお母さんと話してみました」といった声もありました。おまつりの裏テーマ「子育て仲間を一人増やしませんか」をお伝えしていたこともあり、実際に声をかけ、交流を楽しんでくださった方がいたことを嬉しく思いました。わらしこまつりプラスでは一年生の卒園児親子も帰ってきてくれ、久しぶりの再会を職員も一緒に楽しみました。子育てにたくさんの手が必要だった時期を一緒に過ごした仲間の心強さを、保護者の皆さんの笑顔から感じました。

さて、今月は保育参観です。今回ぜひ見つけていただきたいのが、「家庭では知らなかった、もう一人の我が子」です。園は家庭とは少し違う社会です。友達の中で遊ぶ姿、先生の話をもみなと一緒に聞く姿、家では大人がしていることを自分でやってみる姿。乳児さんにも「こんなに身体を使って遊ぶんだ」「先生や友達にはこんな表情を見せるんだ」と、きっと知らなかった姿があります。「ちゃんとできているかな？」ではなく、「へえ、こんな姿もあるんだ」を一つ探してみてください。園での発見をご家庭へ、家庭での姿を私たちへ。それぞれが知っているお子さんの姿を持ち寄りながら、一緒に子育てを楽しんでいけたらと思います。



先生たちも、「もっとこうしたい」を話しています。



9月、こんな方たちに出逢いました。

9月は、園の外のいろいろな人と出会う機会がありました。久しぶりに長生園を訪問すると、子どもたちに手を伸ばし、立ち上がって迎えてくださるおじいちゃん、おばあちゃんたち。とても柔らかな表情が印象的でした。毎日一緒にいると当たり前になってしまいがちですが、子どもがそこにいるだけで、人をこんなに笑顔にするんだと改めて感じました。

また、わらしこに「分別救助隊 ワケルンジャー」がやってきました！くじら組さんは、久留米市の職員さんから、ゴミの分別やリサイクルについて学び、紙すきにも挑戦しました。博士ちゃん（外部講師）に「この紙ではがきを作ろうね！」と言われて、子どもたちは「???」。郵便料金の値上がりで年賀はがきも縁遠くなり…。外の人と出会うことで新しい経験、知識が増えます！

家族、先生、地域のおじいちゃん・おばあちゃん、地域で働く人たち。子どもを育ててくれる人は、たくさんいていい。子育ても同じです。家族だけで頑張らず、周りを頼ったり、声をかけたりしながら、我が子を「かわいい」と思ってくれる人を、家族の外にも少しずつ増やしていけたらいいですね。



今年度からわらしこでは、外部講師をお招きし、年間を通した園内研修を行っています。今回3回目となる研修では、中堅・ベテランの先生たちが集まり、「チームづくり」をテーマにグループで話し合いました。

先生たちも、より良い保育をしていくために、学んだり、話し合ったりする時間を大切にしています。また、園の中だけで考えるのではなく、外部の方から新しい視点や考え方を学ぶことも、園全体が成長していくために必要なことだと考えています。

子どもたちが毎日少しずつ成長しているように、私たち職員も学び続ける。これからも職員みんなで力を合わせながら、安心して大切なお子さんを預けていただける、わらしこをつくっていききたいと思います。

「これ読んで！」が、
お家でも続くかもしれません

園では毎月「こどものとも」の月刊絵本を購入し、子どもたちと楽しんでいます。園でお気に入りになった一冊を、今度はお家でも。気になる絵本は、1冊から購入できます。【今月の絵本を見る】【注文はこちら】

